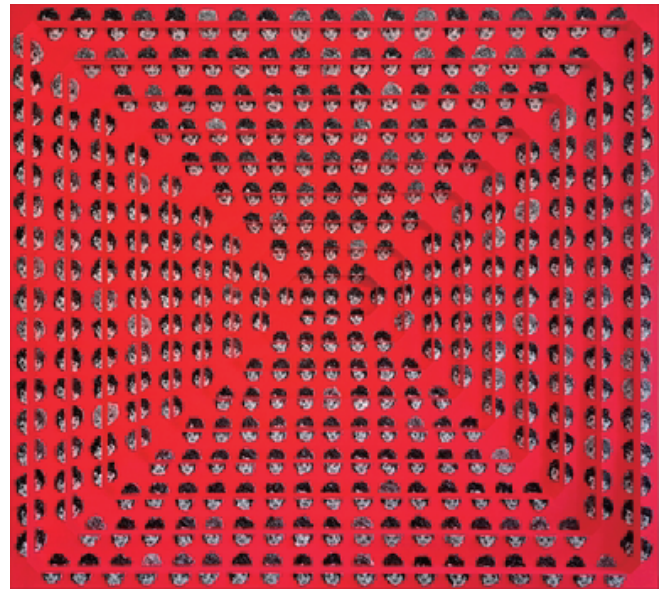


KUNST ARZTでは、2年振り2度目となる下村悠天の個展を開催します。下村悠天は、二次元のキャラクターへの関心、欲望から、モニターに囲まれた現代の絵画を生み出すアーティストです。モニター上のキャラクターに触れたいという情動が次元を超えて映し出されたRe-touchシリーズ、風船に描いたキャラクターが萎むことで3次元を内包する肖像画の#シリーズなど、エフェメラルなモニター上の世界を独特の感性で絵画に落とし込んでいます。



#30

2024

パネルにアクリル

1875×2075×550mm

経歴

1999年 滋賀県生まれ

2024 京都市立芸術大学院 美術研究科 修士課程 絵画専攻 修了

【個展】

2024 「XXX」/biscuit gallery/(東京)

2023 「# \ Re-touch」/KUNST ARZT/(京都)

【グループ展】

2025 「ダイヤモンドから夢を放つペルセウス」/@KCUA/(京都)

2024 「架空と現実を行き来する SNS 時代のアート達」/ASTER Curator Museum/(金沢)

2024 「かんがえる書 展」/東京都美術館/(東京)

2024 「cross cross x x」/GALERIE OVO/(台湾)

2024 「grid 3」/biscuit gallery/(東京)

2024 「京都市立芸術大学作品展」/京都市立芸術大学/(京都)

2023 「Junction」/京都 蔦屋書店/(京都)

2023 「Study: 大阪関西国際芸術祭」/グランフロント大阪/(大阪)

2023 「私にあなたが着くまで」/YOD Editions/(大阪)

2023 「SUMMER VIBE」/Contemporary Tokyo 北京/(中国)

2023 「ローカル」/pie/(韓国)

2023 「ARTISTS' FAIR KYOTO」/京都文化博物館/(京都)

2023 「Study: 大阪関西国際芸術祭」/大阪府中之島図書館、グランフロント大阪/(大阪)

【コミッション】

2025 「groundscolere」絵画、オブジェ、映像制作/grounds/(東京)

2023 「support/surface」ラグデザイン/support/surface/(東京)

「V 少女世界」絵画制作/Vshojo/(東京)

【受賞】

2024 「京都市立芸術大学作品展」奨励賞

2025年2月28日(金)から3月9日(日)

12:00 から 18:00 月曜日休み

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

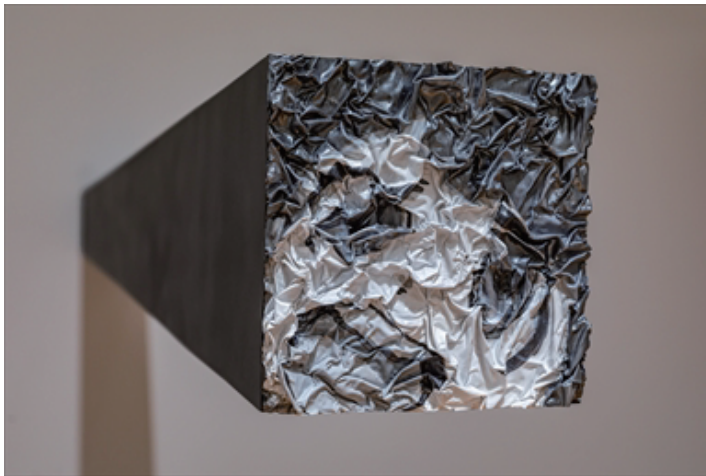
kunstarzt@gmail.com

展覧会コンセプト

最新のテクノロジーによって、ネットワーク越しに接する「向こう側」(イメージ、情報、キャラクター)と「こちら側」の私はシームレスであり、今回の作品を通して両方の様々な事象を重ね合わせ、思考することによって、人とイメージの関わりで新たな視点をみせる試みです。

アーティスト・ステートメント

私はSNSやデジタルデバイスを媒介することで変質してゆく情報やイメージの関心を起点に、物質と非物質の関係性に着目し制作しています。例えば、タッチパネルやVRゴーグルといったデジタルデバイスを通して見るキャラクターに対するフェティッシュから生まれた《Re-touch》シリーズは、ディスプレイの「向こう側」に存在するキャラクターに触れ、相互的な関係を持つようとする欲望が露わになっています。その中で、触れる部位や触れ方(速度、圧力)、絵具の状態(色、粘度、温度)によって、皮膚を伝わって受け取る情報は変化し、そこから湧き上がる感情も変わってきます。他のシリーズに関しても、一貫してネットワークの向こう側のスケールフリーな空間、あるいはコミュニケーション空間への欲望に駆動されながら、その反動として様々な手法で作品にあらわれています。



#35
2025
パネルにアクリル
200×200×3000mm



Re-touch #22
2024
パネルに綿布、転写シート、アクリル
305×210mm



Re-touch #32
2024
パネルに転写シート、アクリル
480×600mm